

多高通信

第156号 平成30年7月27日発行



さどく ゆたかに たくましく
宮城県多賀城高等学校

科学部 環境マルシェ参加

■鶏徳 俊樹 (2年6組 利府西中出身)



外国人も訪れました!

私たち科学部は6月24日に尚綱学院大学が主催する第3回環境マルシェにおいて、一昨年から継続研究している多賀城高校の松食い虫被害の状況を発表しました。この環境啓発イベントはサンモール一番町商店街アーケードを会場に行われ、街を行き交う人々が聴講できるイベントとなっています。一般の人々に向けて発表するということでも以上に緊張しましたが、発表の回を重ねるごとに上手に伝えることができ、貴重な体験となりました。また、他校の発表を見ることで、その充実した環境活動と問題へのアプローチの仕方に感心させられました。

今回の経験を科学部の今後の調査・研究に活かしていきたいと思っています。

ハワイ大学交流行事

6月29日、昨年も来ていただいたハワイ大学教育学部マノア校の教員や学生ら9名が来校しました。



ハワイでは現在もキラウエア火山の噴火が続いていることもあり、津波や火山といった自然災害も身近です。防災教育を軸としたESDに取り組んでいる本校の教育実践を視察し、生徒との交流を通して日本の教育実践を研究し、今後の交流について検討する目的で本校を訪れました。

3時間目には1年生の「ミニユニケーション英語」の授業に参加していただきました。1グループに1名の学生等が入り、ハワイの歴史や文化、自然や災害について紹介してもらいました。それぞれのグループではiPadを使用し、ハワイや日本の様々な事柄についてプレゼンしたり、簡単なクイズをしたり、時にはジェスチャーを交えながら交流を行いました。自分たちの国の様々な事柄について知識や情報を共有し、最後には、お互いに話をするのに夢中になり、50分の授業が短く感じるほど、有意義な時間を過ごすことができました。

■生徒の感想

○今回の交流で私は初めてハワイの方とお話することができました。私たちが考えた質問も、少しずつヒントを出しながら最終的には答えを言うてくれたのでとても嬉しかったです。本場の英語は私が思っていた以上にわからず、速くて驚きましたが、私たちが「Slowly please」とあやふやな英語を言っても理解してくれられてくれてとても楽しかったです。ハワイの方のお話はなかなか理解するのが難しかったけど、質問を理解できた喜びは、とても心に残っています。本当に貴重な体験となりました。



iPadを使ってハワイの説明を受けています

○分かりやすい英語で話をしてもらったというのもあると思いますが、教授のプレゼンテーションがしっかり聞き取れたのがとても嬉しかったです。自分の英語も雰囲気とジェスチャーで伝わっていたのがとても嬉しく、「ミニユニケーション」というのはとても素晴らしいということを実感できました。またこのような機会を頂けるのなら楽しく会話できたらいいなと思いました。

TOMODACHI PROGRAM 2018

日米の高校生が相互訪問して次世代のリーダー育成を目指すTOMODACHIプログラムで、シカゴのレーンテック高校の生徒6名と2名の教員が6月25日に終日多賀城高校で過ごしました。レーンテック高校の生徒の滞りは6月25日〜30日で、その期間は昨年多賀城高校からシカゴ訪問の際に交流プログラムに参加した生徒の自宅へ宿泊しました。ホスト生徒と授業に参加したり、アメリカ文化やシカゴ、レーンテック高校についてのプレゼンテーションを多賀城高校生の前で رفتりしました。また、語学研



iRis Hallでのプレゼンテーション

究部は「まちあるき」で多賀城市の被災跡を案内し、放課後には吹奏楽部や軽音楽部がパフォーマンスを披露するなど、さまざまな部活動を楽しく見学しました。

■生徒の感想

今回私は初めてホストファミリーとしてレーンテック高校生を受け入れられました。一緒に生活する中で、うまく伝わらなかつたり、聞き取れなかつたりしたことがありましたが、しかしこの経験を通して自分に足りなかつたこと、これから勉強するべきことがわかりました。また、お互いの国の文化や日本語と英語をお互いに教え合ったりするなど、とても楽しく充実した時間を過ごすことができました。今回の交流で得た経験を生かし、自分の進路実現に向けて頑張りたいと思います。そしてレーンテックの高校生とはこれからも連絡を取り合い、良い関係を続けていきたいです。

SSH共同研究 釧路湿原巡検

■市川 一紀 (1年3組 利府西中出身)

6月25日〜27日の3日間、SSH共同研究 釧路湿原巡検に参加しました。北海道釧路湖陵高校が主催する釧路湿原をフィールドにした巡検で、近年環境変化の著しい釧路湿原の自然回復と保全を目的として、野生生物の生息状況調査を行いました。

多賀城高校から参加した私たち4名は、釧路湖陵高校のグループに加わり、植生の違いによる昆虫の生息状況調査を行う昆虫班と、釧路湿原に生息する水生生物を調査する沢班の2つのグループに分かれて調査を行いました。私が参加した昆虫班では、トラップで捕獲した外来種に交じって外来種を見つけたことで、環境破壊は自然豊かな釧路湿原にまで及んでいることが分り、大きな驚きを得ました。一方、



沢班の水生物調査

沢班に参加した友人からの報告では、捕獲した魚類の中に絶滅危惧種がいくつも見つかり、釧路湿原の自然の豊かさに魅了されたと言いました。最終日には、多賀城高校独自の研修として、温根内ビジターセンターと環境省

釧路湿原野生生物保護センターを訪れ、釧路湿原の植生の観察と、オオワシやシマフクロウなどの大型猛禽類の保護について学びました。野生生物保護センターでは、観光を目的とする旅行者では見ることのできないシマフクロウのハリハリ施設「フライングケージ」に案内していただきました。

菅浦田浜海水浴場

1000人ビーチクリーン



開会式。あいにくの天気ですが多くの方が参加しました。

7月8日、七ヶ浜観光協会などの共催で、菅浦田浜海水浴場の海開きに向けた1000人 BEACH CLEANが行われ、本校軽音楽部、家庭部、ボランティア有志が参加しました。当日は時折霧雨が舞うあいにくの空模様でしたが、子ども達が安心して走り回れるビーチを目指し、石拾いや清掃を行いました。

また、8日の午後と9日には、軽音楽部が観光協会の方々と共に、砂浜の露店の組み立て作業などの海開きの準備を手伝いました。家庭部は、ビーチで提供する地元のカフェとの共同メニューを試作しました。

8月4日の SEVEN BEACH FESTIVAL に向け、今年も軽音楽部・家庭部は頑張っています! 当日はぜひ菅浦田浜に遊びに来て下さい!



9日には晴れ間も見えました!

ありがとうございました



本校近郊の駅前でいった大阪北部地震への募金額は63,701円となりました。西日本豪雨の募金については、来月ご報告いたします。

ご協力ありがとうございました!